

# 広報委員会

## 令和元年度活動報告

- ◆**広報委員会開催**  
5月28日、6月21日、3月5日
- ◆**広報誌「居留地会議」No.40発行**  
7月1日 2,000部発行  
特集:ミュージアムが似合う港町・神戸
- ◆**親睦会・イベント等の写真撮影・記録**
- ◆**旧居留地連絡協議会 Webサイトの管理・運営**  
トップページに新たに当会会則を掲載
- ◆**旧居留地連絡協議会オフィシャルサイトの管理・運営**  
「神戸旧居留地BLOG」、イベント情報などを随時更新
- ◆**情報発信事業**  
・5/3 Kobe Music Stage 街角コンサート(NTT新神戸ビル東、大丸前)  
・9/16、9/28、9/29、10/5、10/6 Kobe Music Stage(NTT新神戸ビル東ほか)  
・10/19 プロムナードコンサート(朝日)

ビルピロティ)、ファッション都市・神戸PR事業(大丸イベントホール他、SMBC前広場)  
 ・11/3 旧居留地に集うスパー・ツーカー、スーパー&クラシック音楽の共演(SMBC前広場)  
 ・11/4、11/16、12/22 Kobe Music Stage(NTT新神戸ビル東、市立博物館ロビー)

## 令和2年度活動計画

- ◆**広報委員会開催**  
9月4日、9月29日、3月(予定)
- ◆**広報誌「居留地会議」No.41発行**  
11月1日 2,000部発行予定
- ◆**親睦会・イベント等の写真撮影・記録**
- ◆**旧居留地連絡協議会 WEBサイトの管理・運営**
- ◆**旧居留地連絡協議会オフィシャルサイトの管理・運営**
- ◆**情報発信事業**  
7/11、8/8、9/12 Kobe Music Stage(神戸市立博物館1階ホール、SMBC前) 秋以降の事業を検討

# 親睦・イベント委員会

## 令和元年度活動報告

- ◆**納涼会**／7月19日(金)  
大丸神戸店9階群愛飯店  
神戸大丸店(75名参加)
- ◆**秋のバーベキュー大会**／11月30日(土)  
神戸ハイウェイオアシス  
BBQハウス モスタージ(41名参加)
- ◆**新年会(賀詞交歓会)**／1月20日(月)  
神戸銀行協会 2F会議室・4Fホール
- ◆**親睦ボウリング大会**／3月11日(水)  
神戸ボウリングクラブ  
＜新型コロナの影響により中止＞
- ◆**月例委員会**  
・4月～2月度の月例委員会を計画通り開催  
・3月度の月例委員会は新型コロナ感染防止により中止

## 令和2年度活動計画

- ＜当初計画＞
- ◆**納涼会** ◆**バーベキュー大会**
- ◆**ボウリング大会**
- ＜計画見直し後＞
- ※**新型コロナの影響を踏まえ年間計画を見直し**
- ◆**オンラインバスツアー**／開催日:11月8日
- ◆**ボウリング大会**／開催日:3月予定  
※**新型コロナの状況を踏まえ開催可否を別途判断(補足)**  
オンラインバスツアーの開催結果および、新型コロナの状況を踏まえ、追加イベントの開催可否を引き続き検討。

### 居留地文化祭 (場所:三井住友銀行神戸営業部前)

コロナ禍で大会や文化祭が中止になり、活動の場を失った学生のみならず、日頃の文化活動の成果を発表する場として開催します。

- ◆日時 / 2020年11月15日(日) 10:00～18:00  
兵庫県立神戸高等学校・弦楽部、合唱部、吹奏楽部の3部制 / 兵庫県立長田高等学校・音楽部(コーラス) / 兵庫県立兵庫高等学校・吹奏楽部&吹奏楽部OB / 兵庫県立神戸商業高等学校・吹奏楽部
- ◆日時 / 2020年11月22日(日) 13:00～18:00  
神戸大学 ジャズ研究会 / 大阪大学 ジャストリオ / 甲南大学 ジャストリオ / 甲南大学OB ジャズコンボ

## 開港5都市景観まちづくり会議2020神戸大会

THE SORAKUENと神戸国際会館を会場として10月2日・3日に開催されました。この会議は、景観まちづくりに取り組む市民団体が集って、1993年に神戸ではじめて開かれたもので、以後、長崎、新潟、函館、横浜の各都市がもちまわりで企画しています。新型コロナ感染拡大防止の観点から、当初予定より規模を縮小しての開催です。



コロナ対策のため、人数を絞った会議風景。各都市からのリモート参加も試みられました。



- ◆9月12日(土)～12月27日(日) 特別展「ムッソリーニのオルゴールシアター」六甲オルゴールミュージアム
- ◆9月19日(土)～12月20日(日) 横尾忠則の緊急事態宣言 横尾忠則現代美術館
- ◆10月3日(土)～12月13日(日) 特別展「わが青春の上社会一昭和を生きた洋画家たち」神戸市立小磯記念美術館
- ◆10月10日(土)～12月13日(日) 宮野鉄之助 一玉鋼を鍛えた鍛冶治一 竹中大工道具館 1Fホール
- ◆10月10日(土)～1月5日(火) 企画展「とんぼ玉展覧2020」KOBETONBOYミュージアム
- ◆10月31日(土)～12月13日(日) 古(いにしえ)に憧れて 一聖徳太子から聖武天皇へ 香雪美術館
- ◆11月21日(土)～1月17日(日) 特別展「にじいろのさかな原画展～マーカス・フィスターの世界～」神戸ファッション美術館

## 新会員募集

●入会のお問い合わせ、お申し込みは、078-333-2314 大丸神戸店(事務局/岡・土池)まで 078-333-4111 ノザフ(事務局/古賀)まで

## 旧居留地連絡協議会

神戸市中央区播磨町 30 大丸カーポート 7 階 Tel.078-332-0151 Fax.078-332-0052



# 居留地会議

THE FORMER FOREIGN SETTLEMENT OF KOBE



## 旧居留地は 感染症対策の「先進地」

新型コロナウイルスの感染拡大で、私たちの暮らしは大きな影響を受けました。ミナト神戸は開港以来、世界に開かれたまちとして発展してきましたが、同時にコレラやペストなど感染症の国内への「入り口」となり、その脅威にもさらされてきました。そんな中、外国人居留地では、計画当初から下水道敷設がまちづくりの柱に掲げられていました。日本最古の近代下水道の一つとされる居留地の下水道整備の背景には、衛生面の向上によって感染症を防ぐという意図があったようです。近代以降の神戸の歴史には、感染症との戦いという側面もありました。

▲ジオラマ模型で再現された旧居留地の風景(神戸市立博物館)

## 日本初の近代下水道を整備

1868(慶応3)年に開港した神戸では、先行して開港した長崎や横浜より遅れて外国人居留地が整備されました。しかし、遅れたことによって神戸の居留地は、長崎や横浜の経験を生かし、より計画的で整然とした西的のまちづくりが進められ、「東洋一美しい居留地」と称されました。

開港前に交わされた幕府と外国公使団との間の取り決めでは、兵庫(神戸)の居留地は、神戸の市街地と生田川の間に設けて、水はけがよいように地面を高く築き上

げる、海岸に石垣を築くといった項目に加え、下水を通すことが明記され、この時点で既に下水道が欠かせない都市基盤と考えられていたことがうかがえます。

居留地の基本的な設計は、明治維新後、初代兵庫県知事伊藤博文のもとで、英国人技師J・W・ハートが担当しました。126区画に分けた居留地は、馬車などのための車道と歩道を分離し、街路樹や街灯などがある近代的なまちとして整備されました。そして、広い南北道路に沿って設けら



▲旧居留地十五番館にある日本最古の西洋式下水道



▲昭和期のベスト汚染対策訓練(神戸検査書蔵)

れたのが下水道です。

居留地の下水道はれんが造りです。幹線の下水道管は二種類あって、円形管(内径約90センチ)が延長約810メートル、断面が卵型の管(短径約46センチ、長径約60センチ)が延長約1070メートルで、計6本、1880メートルが敷設されました。完成は1872(明治5)年です。西洋式下水道としては、横浜居留地と並んで日本で最も古く、敷設当時は唯一のれんが管でした。

### ◆伝染病に襲われる恐れ

下水道は外国人たちが強く要望していた施設です。開港後に神戸で暮らすようになった外国人からは伝染病予防のため保健衛生面での改善を求める声が上がっていました。生ごみなどの悪臭が町に漂う状況を懸念する記事が英字新聞に掲載されることもありました。居留地建設に当たり、衛生面や水はけの悪さといった課題解決には下水道建設が欠かせないとの考えが強かったのです。神戸より先に建設された横浜の居留地でも衛生的でない排水溝への苦情が寄せられ、地下埋設の下水道が再整備されています。

外国人たちが居留地の下水道にこだわった背景にはコレラの流行がありました。19世紀、コレラは世界的流行が繰り返される感染症でした。日本でも江戸末期の1858(安政5)年、長崎から侵入したコレラが全国に蔓延し、患者・死者は数十万人に上ったとされます。

19世紀半ばの英国でもコレラの影響は深刻でした。ロンドンでは、町中に汚物が放置されるなど、衛生環境は劣悪な状況でした。コレラ患者が悪臭漂うスラム街で多く発生したこともあり、病気の原因は腐敗物から発生する「悪い空気」である「瘴気(しょうき)」とする説が広まったのです。このため、「悪い空気」を発生させる土壌や水の汚染を防ぐと地下埋設の下水道建設が求められました。1884年にコレラはコレラ菌によって発生

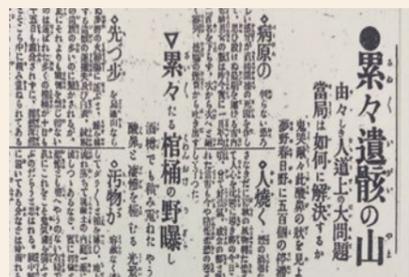
することが明らかになり、瘴気説は否定されるのですが、結果として下水道整備の推進は公衆衛生の向上に役立ちました。

神戸の居留地の下水道について土木史研究家の神吉和夫さんは「当時は伝染病対策の一つに土木事業があった。西欧では衛生的な都市への意識は強く、下水道整備は当然とされていた」と話しています。風通しをよくする広い街路も含め、下水道など衛生面に配慮した居留地建設が美しい街並みにつながりました。

居留地の下水道は、実は排水を海に流しており、感染症予防の点では疑問が残りますが、近代的な都市インフラの先駆けとなりました。下水道管の一部は当時のまま地下に残り、約90メートルにわたる雨水幹線として使われています。旧居留地十五番館の東側歩道には、下水道管の一部が展示され、卵型の断面もはっきりと分かります。同様の下水道管は神戸市立博物館にも展示されています。

### ◆コレラ、ペスト、スペイン風邪

神戸は近代化と並行して感染症との戦いを強いられてきた町です。1877(明治10)年、西南戦争後の帰還兵を乗せて入港した輸送船内でコレラ患者が発生、神戸市内で300人以上が感染し、明治維新後で最初の大流行となりました。感染症は海から侵入してきたのです。これをきっかけに日本でも検疫制度の必要性が認識され、翌年には、国内初の検疫施設の一つとして、現在の神戸検疫所の前身である和田岬消毒所が設置されることになります。ほぼ同時に横浜にも消毒所が設けられました。



▲スペイン風邪を伝える1918年11月6日付神戸新聞

その後、1886年のコレラ流行では、神戸で2000人近い死者が出ています。1920(大正9)年、神戸で発生したコレラが国内では最後の大流行とされています。

中世ヨーロッパで人口の3分の1が命を落とし、「黒死病」と呼ばれたペストも、1899(明

治32)年、神戸で国内初の患者が確認され、感染が広がりました。コレラに続くペストの蔓延は神戸に衝撃を与えました。実は繰り返し襲ってきたコレラに比べればペストによる国内での被害は軽微に終わっています。しかし、新たな感染症への市民の恐怖は大きく、徹底的な撲滅のため防疫当局が患者宅周辺の民家を買上げて焼き払うという手段までとりました。

大正時代には国内で約40万人が死亡、神戸でも7000人以上が亡くなるスペイン風邪の爆発的な流行がありました。当時の新聞紙面には学校や職場の閉鎖、マスクの値段の高騰など、現代のコロナウイルス禍とも重なる光景が報じられています。

その後も1962(昭和37)年には、神戸港に陸揚げされた台湾のパナナにコレラ菌汚染の疑いがあるとして、大量に焼却処分される騒動がありました。2009年に国内初の新型インフルエンザ感染者が神戸で確認されたのも記憶に新しい出来事です。

### ◆水際で阻止する検疫所

こうした感染症の侵入を水際で阻止する業務に携わっている厚生労働省神戸検疫所(神戸市兵庫区遠矢浜町)には歴史展示室があり、明治時代に始まった検疫の歴史を伝えています。コレラ患者が横になったまま排せつできるよう中央部分に穴を開けたベッド、ペスト菌を媒介するネズミ駆除のために船内に青酸ガスをまく際に使った防毒マスク、防護服などが検疫現場での戦いの様子を物語っています。

白い防護服を着た職員らが、ペストに汚染された船舶の検疫措置を行う訓練の写真なども展示されています。また、感染者が出た船舶の乗員を隔離し、しばらく生活するための施設「停留棟」の建物も敷地内に残っています。感染症はミナト神戸にとって大きな脅威でした。新型コロナウイルスが世界で猛威を振るっているように、感染症は21世紀の今も克服されてはいません。コロナ禍は長期化する恐れも指摘されています。感染症との戦いはまだまだ続きそうです。



コレラ患者用ベット(神戸検疫所蔵)▲

### 旧居留地連絡協議会

## 令和元年度活動報告と活動計画

新型コロナウイルスの発生により、2020年4月7日、政府より「緊急事態宣言」が発令され、一定規模の集会は自粛等が求められました。協会としても、諸般の情勢を鑑み、令和2年度の総会は6月8日に書面決議での開催とすることになり、6月12日に昨年度の活動報告及び今年度の活動計画と予算が承認されました。

## 都心づくり委員会

### 令和元年度活動報告

#### ◆地区内建設計画・店舗計画の聴取、助言

- ・モンクレール
- ・セブンイレブン
- ・ゴルフ5(商船三井)
- ・伊藤町ビル改修
- ・ヴィヴィアンウエストウッド
- ・神戸市立博物館
- ・朝日ビルディング店舗
- ・浪花ビル店舗
- ・神姫バス
- ・リパーク(新説)
- ・アストンマーチン
- ・街なかの人見える化実証実験
- ・新中央区総合庁舎 建設
- ・都心三宮再整備(バスターミナル)
- ・江戸町筋 駐輪対策(実験)

#### ◆広告物対策

#### ◆資源の発掘・整理

#### ◆迷惑自転車対策

#### ◆道路の整備の考え方

#### ◆広告物ガイドライン改定の検討

#### ◆委員会開催日

4月16日、5月15日、6月12日、7月10日、5月7日、9月9日、10月7日、11月13日、12月18日、1月15日、2月12日、3月11日

### 令和2年度活動計画

- ・地区内建設計画・店舗計画の聴取、助言
- ・広告物対策
- ・資源の発掘・整理
- ・迷惑自転車対策
- ・道路の整備の考え方
- ・広告物ガイドライン改定の検討

## 防災・防犯委員会

### 令和元年度活動報告

#### ◆防災・防犯委員会

4月17日、5月13日、6月18日、7月18日、9月10日、10月17日、11月15日、12月17日、2月5日

#### ◆防災福祉コミュニティ代表者会議

／2019年4月14日(日)  
神戸市中央消防署:参加者1名

#### ◆防災マネジメント研修:新規養成コース

／2019年6月30日(日)  
神戸市防災コミュニティセンター:  
参加者2名

#### ◆市民防災リーダー研修

／2019年9月16日(祝・月)  
神戸市中央消防署:参加者1名

#### ◆市民救命士講習

／2019年11月6日(水)  
東京海上日動火災保険(株)神戸支店:  
参加者21名

#### ◆旧居留地防災訓練

／2019年12月4日(水)  
神戸朝日ビル 1階ピロティ:参加者21名

#### ◆メモリアルウォーク(帰宅困難者訓練)

／2020年1月17日(金)  
参加者20名

#### ◆防犯講習会

／2020年3月9日(月)  
コロナウイルス感染症のため中止

### 令和2年度活動計画

#### ・防災・防犯委員会定例会議(月例)

7月21日、9月17日、10月16日

#### ・防災福祉コミュニティ代表者会議

消防署判断により代表者会議は中止、別途個別相談会に参加

#### ・防災マネジメント研修:新規養成コース

消防署判断により防災マネジメント研修は中止

#### ・市民防災リーダー研修

9月6日(日)神戸市中央消防署:参加者2名

#### ・市民救命士講習会

コロナウイルス感染症のため中止

#### ・旧居留地防災訓練

コロナウイルス感染症対策のため規模を縮小し(防災防犯委員のみ)実施予定

#### ・メモリアルウォーク

主催団体(兵庫県等)による今年度内容の発表を見て参加方法等について検討する

#### ・防犯講習会

コロナウイルス感染症状況を見て総合的に開催の有無を含めて検討する

## 環境委員会

### 令和元年度活動報告

#### ◆緑化活動

●プランター維持管理契約  
／6月1日更新

#### ◆クリーン作戦

- 初夏クリーン作戦／5月23日(木) 210名の参加
- 初秋クリーン作戦／9月12日(木) 220名の参加
- 冬季クリーン作戦／11月7日(木) 140名の参加
- 春季クリーン作戦／中止

#### ◆ノーマイカーデー運動

10月10日(木)

#### ◆放置自転車・バイク実態調査・警告タグ貼り

6月6日(木)、11月28日(木)

#### ◆環境委員会定例会議

4月25日(木)、7月17日(木)、10月10日(木)

#### ◆エコキャップ運動

5月17日→219kg 9月12日→296kg  
11月7日→133kg 3月12日→中止



▲昨年のクリーン作戦の様子

### 令和2年度活動計画

#### ◆緑化活動

●6月1日更新済

#### ◆クリーン作戦

- ・年4回実施
- 初夏クリーン作戦  
／5月28日(木) 中止
- 初秋クリーン作戦  
／9月10日(木) 中止
- 冬季クリーン作戦  
／11月5日(木) 中止
- 春季クリーン作戦  
／3月11日(木) 中止

#### ◆ノーマイカーデー運動

10月8日(木) 中止

#### ◆放置自転車・バイク実態調査・警告タグ貼り

10月15日(木) +1回実施予定

#### ◆環境委員会 定例会議

10月15日(木) +1回実施予定

#### ◆エコキャップ運動

今後エコキャップ収集見合わせ